

Short-term Study Abroad Program in Economics (MYS)

2026年度 募集要項 (マレーシア)

立教大学 経済学部

I プログラムの概要について

1 ねらい

- ① 東南アジアに位置し、マレー人、華人、インド人らが調和して共存しつつ、イスラーム、仏教、ヒンドゥー教、キリスト教など多様な信仰が実践されているマレーシアにおいて、英語で経済を学ぶ。
- ② マレーシアの伝統文化に触れるとともに、文化とビジネスとの結びつきに焦点を当てる。

2 内容

日本(本学)においてマレーシアにおける経済・経営・文化等に関する事前研修を行った後、マレーシア科学大学にて英会話研修、ビジネスプレゼンテーション演習および経済・経営に関する講義を英語で受講する。また現地での企業見学、学生との交流等を行う。

- ① 事前研修 (100分×14回程度) : マレーシアの経済、経営、文化等に関する事前学習、ほか
- ② 海外研修 : 2026年8月1日(土)~8月24日(月) (日本発着) [予定]
 - 英語による経済・経営に関する講義およびプレゼンテーション演習
 - 地域経済視察、企業見学なお、海外研修中の使用言語は全て英語となる。
- ③ 最終レポート提出

3 海外研修先

大学名 : マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia (<https://www.usm.my/en/>)

所在地 : マレーシア・ペナン州

Jalan Universiti, 11700 Gelugor, Pulau Pinang, マレーシア

設立年 : 1969年

設立形態 : 国立大学

学生数 : 約30,000名 (学部、大学院計)

4 宿泊先

キャンパス近郊のホテルに宿泊

5 海外研修スケジュール [予定]

2026年 8月1日(土) 成田空港 発 → クアラルンプール国際空港 経由 → ペナン国際空港 着

8月3日(月) ~ 21日(金) マレーシア科学大学にて研修

8月23日(日) ペナン国際空港 発 → クアラルンプール国際空港 経由で帰国

8月24日(月) 成田空港 着

6 開催形式

カスタマイズ型(基本的に立教大学生のグループで行動する)

マレーシアへの出入国時及び滞在中は基本的に団体で行動し、例外的な緊急事態を除き、個人都合による離脱や早期帰国は一切認めない。滞在中は担当教員及び受入先大学教職員の指示に従って行動すること。

7 募集人数

10~15名(最少催行人数の10名に応募数が達しない場合、催行中止の可能性ある)

8 参加費総額

50~60万円台見込(為替相場や航空運賃の変動により増減の可能性ある)

現地プログラム費用:授業料、教材代、宿泊費、平日・土日の2食分の食費(朝食、昼食)、航空運賃、海外旅行傷害保険が含まれる。

※パスポート取得または更新が必要な場合の申請費用は別途自己負担となる。

※日本国籍以外の受講生は、国籍によってはマレーシアの入国ビザ申請が必要になる場合がある(自己負担により別途費用の支払が必要)。ビザが交付されない場合、マレーシアでの現地研修に参加できなくなる可能性があるため、熟慮の上で参加申込について判断すること。ビザ申請の必要性の有無については、[マレーシア大使館のウェブサイト](#)で確認すること。

※日本国内の感染症流行の拡大により、現地への渡航制限や滞在中の行動制限が発生するなど、結果的に研修地へ渡航できない可能性がある。その際のキャンセル費用や追加費用は自己負担とする。

9 集合および解散

成田空港集合・成田空港解散

II 「Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)」科目について

1 以下の科目として開講される。

経済学部「Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)」

経済学部生: 科目区分: 共通選択科目2の卒業要件単位

他学部生: 所属学部の他学部履修の規程により履修

開講学期 春学期

単位数 6単位

履修対象学生 経済学部、他学部ともに学部2~4年

(学部1年生及び大学院生は参加不可)

履修上の注意

・修得単位は、当該年度の特別卒業判定の対象とならないので、特別卒業申請予定者は注意すること。

2 履修登録について

(1) スケジュール

日程	時間	場所	事項・配布物
3/3 (火)	13:30～ 14:30	<対面開催> 会場：池袋キャンパス 8号館4階 8402教室	履修ガイダンス 参加申込手続に関する説明
<p>出願受付：日 時： 3/16 (月)～3/21 (土) 正午 提出先：こちらのフォーム上に出願理由（400字以内）を含む必要事項を全て記入し、以下の書類データをアップロードすること。 出願書類：・成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください） ※成績参照画面をPDFにする方法はこちらから確認してください。</p>			
3/23(月)	15:00	経済学部 WEB掲示板	選考結果（履修者）発表 履修登録状況画面の更新： 3月31日（火）18:00
初回授業	時限・教室は3月19日の時間割発表で確認すること		第1回事前講義
6月上旬	時限・教室は3月19日の時間割発表で確認すること		旅行代金の案内と振込 現地プログラム費用の案内と振込

【注意事項】 1) 履修許可者発表後の履修取消はできない。

2) 本プログラム事前講義が開講される曜日・時限に別科目の登録を行わないこと。

【参加者二次募集を行う場合のスケジュール】

募集期間：3月23日（月）15:00 ～ 3月25日（水）正午

結果発表：3月27日（金）15:00

履修登録状況画面の更新：3月31日(火)18:00

(2) 「実施」の確定について

3月21日（土）の参加申込締切時点で、履修者が最低催行人数10名を下回る場合、参加者の二次募集を行う。3月25日（水）の二次募集締切時点で履修者が最低催行人数10名を下回る場合、三次募集を行う。なお、三次募集を行ったうえで定員を満たさない場合には当該科目は休講とする。休講の場合、4月6日（月）に経済学部WEB掲示板にて通知する。

(3) 履修者の確定について

- ① 出願書類を提出した者のうち、出願理由、成績証明書（成績参照システム画面のコピーで可）を総合的に評価して履修者を確定する。
- ② 選考結果発表(一次募集：3月23日(月)、(あれば)二次募集：3月27日(金))の後、教務事務センターが履修登録を行う。所定の日時以降に履修登録状況画面(Web)で正しく登録されていることを確認すること(一次募集、二次募集ともに3月31日(火)18:00以降)。やむを得ない事情で研修に参加できない場合も履修登録の取消は一切できない。

3 応募要領

(1) 応募資格

- ① 2026 年度春学期に、経済学部または他学部 2～4 年次に在学する者(学部 1 年次生及び大学院生不可)
- ② 海外での学習に意欲のある者
- ③ 事前研修参加が可能な者
- ④ 「Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)」の単位を未修得の者
※**同学期に募集をする「SSA (CAN) 」には、併願できないので注意。**

(2) 出願書類

参加申込用Googleフォームに出願理由（400字以内）を含む必要事項を記入し、フォーム経由で以下の書類データをアップロードすること。

- 成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください）
※成績参照画面をPDFにする方法は[こちら](#)から確認してください。
※**出願理由はAIが書いたものではなく、自分自身で作成すること。**

(3) 参加費総額： 50～60万円台見込

- ① 現地プログラム参加費
これには、プログラムの授業料、教材代、宿泊費、平日の2食分の食費（朝食、昼食）が含まれる。
※現地プログラム参加費は、履修者数と為替相場の変動によって増減の可能性がある。
- ② 航空運賃および海外旅行傷害保険料
注意：国籍によっては、マレーシア入国の際にビザ申請が求められる可能性がある。その場合、別途申請料が発生するので留意すること。

(4) 支払方法：銀行振り込み

- ① プログラム費用及び渡航費用(航空運賃等)は、期日までに委託旅行会社の銀行口座へ振り込むこと（5月を予定）。
- ② 海外旅行傷害保険料は、所定の期日（6月を予定）までに大学が包括契約する保険会社代理店が指定する銀行口座に振り込むこと。
※いずれについても、費用振込の案内は事前研修の際に配布する。

※注意：日本国籍以外の受講生は、国籍によってはマレーシアの入国ビザ申請が必要になる場合がある(自己負担により別途費用の支払が必要)。ビザが交付されない場合、マレーシアでの現地研修に参加できなくなる可能性があるため、熟慮の上で参加申込について判断すること。ビザ申請の必要性の有無については、マレーシア大使館のウェブサイトを確認すること。

(5) 海外研修辞退の違約金

履修登録後の参加辞退は認めない。やむを得ない事情により参加を辞退する場合でも、履修取消は行わない。また、辞退により発生する現地プログラム費用を含む違約金・手数料等は辞退者が負担する。

辞退申し出先：学部事務2課(経済学部担当) 池袋キャンパス12号館2階

(6) 保険

- ① 海外旅行傷害保険（海外研修期間中の死亡・疾病・傷害・損害賠償責任付）は、大学の指定した業者で加入手続きを行う。手続きは大学が一括して行う。
- ② 本プログラムは、学生教育研究災害傷害保険（全員加入済）の対象となる。
[正課・学校行事・学校に届け出た課外活動（いずれも海外を含む）に参加している間の事故による傷害に適用。「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照]

4 「Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)」の成績評価方法・基準について

(1) 成績評価方法・基準

参加学生は、事前研修、及びマレーシアにおける海外研修等全てに出席しなければならない。

- ① 事前研修での毎回の小テスト（40%）
- ② 事前研修でのプレゼンテーション（10%）
- ③ 研修先での評価・最終レポート（50%）

(2) 成績評価は、春学期科目として通知する。ただし通常の成績発表には間に合わないため、9月22日（火）以降、成績参照システム画面で確認すること。

(3) 成績評価調査について

成績評価調査申請期間については、経済学部 R Guideに掲示するので確認すること。

(4) 最終レポートの提出要領

- ① テーマは、海外研修時に発表する。
- ② 提出期限：2026年9月1日（火）17：00
- ③ 提出方法：Canvas LMS（授業支援システム）経由で提出する。

Ⅲ 奨学金について

本プログラムは立教大学グローバル奨学金および立教大学「校友会成績優秀者留学支援奨学金」の対象となる。申請資格等の詳細については学生部学生課で確認すること。

https://portal.rikkyo.ac.jp/student_affairs/scholarships

Ⅳ 研修参加における誓約および了解事項

1. 本プログラムに参加する学生は、「Short-term Study Abroad Program in Economics (MYS) は、学生個人の自発的選択と責任において行なわれるべきものである。」ことを了解し、かつこの趣旨に関して、保証人の同意を得なければならない。
2. 渡航準備から帰国までを含む研修中の一切の行動は、学生個人の責任において行なわなければならない。
3. 渡航期間中、立教大学経済学部の責任に帰することができない事由、または本学および受入機関が管理し得ない状況のもとで発生した事故等により、自己に生じた損害または第三者に与えた損

害については自己の責任において損害賠償責任その他の責任を負う。

4. 科目担当教員は、本プログラムの成果を上げるためのオリエンテーションおよび助言を随時行ない、相談に応じる。
5. 参加学生は、事前研修、及びマレーシアにおける海外研修等全てに出席しなければならない。
6. 計画は、実施内容の検討により変更することがある。
7. 参加学生は、大学が包括契約を行う海外旅行傷害保険（死亡・傷害・疾病・損害賠償責任付）に加入する。
8. 事前に内外の情勢によって渡航が危険であると判断された場合は、プログラムの実施を中止する。その場合には履修が取り消しとなる。
9. 本プログラムに参加する際に、身体面・精神面その他において特別な支援・配慮が求められる場合、受入教育機関との事前協議が必要となる可能性がある。そのため、特別な支援・配慮を必要とする学生は参加申込フォームの所定の欄に記入し、求められる支援・配慮内容に関して具体的に申告すること。また科目担当教員に対して、可能な限り早めに事前相談を行うことが望ましい。

V 科目担当教員

福島 康博（経済学部兼任講師）、リオン ウォン（経済学部特任教授）

VI 問い合わせ先

学部事務2課（経済学部担当） Email: intl-eco@rikkyo.ac.jp

以 上